令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅡ	２	３－４

１．学習の到達目標

コミュニケーション英語Ⅰで身に付けたコミュニケーション能力をさらに伸ばすことを目標とする。
目的に応じた読み方、話し合った結果をまとめる。
教材は人権を含む社会問題全般に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図る。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	LESSON1　[Places Worth Visiting]	・単元を通して、旅行の意義や異文化について学ぶ 文法：want, ask, tell +人+ to 不定詞の習得
	LESSON2　[Iwago Mitsusaki：Animal Photographer]	・単元を通して、岩合さんのアフリカでのエピソードや動物の撮影方法について学ぶ 文法：疑問詞＋to＋不定詞 の習得
	LESSON3　[The Haka]	・単元を通して、ハカについて学ぶ 文法：分詞(現在分詞、過去分詞)の習得
２学期	LESSON4　[Digital Detox]	・単元を通して、デジタルデトックスについて学ぶ 文法：if 節・疑問詞節の習得
	LESSON5　[Goal Setting]	・単元を通して、効果的な目標設定の方法について学ぶ 文法：話し手の印象・判断を表す動詞(seem)の習得
	LESSON6　[The High School Hair Salon]	・単元を通して、高校生美容室の活動内容について学ぶ 文法：助動詞+have+過去分詞の習得
	LESSON7　[You Can Make a Difference]	・単元を通して、バリのレジ袋撤廃運動について学ぶ 文法：過去完了(had+過去分詞)の習得
３学期	LESSON8　[Nudge]	・単元を通して、ナッジについて学ぶ 文法：関係代名詞 what の習得
	LESSON9　[The Father of Braille Blocks]	・単元を通して、点字ブロック開発の経緯について学ぶ 文法：関係副詞 when, where の習得

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査による評価、授業前単語テスト、提出物等授業態度による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	情報を得るために必要となる語彙や表現、音声等を理解し、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを伝える技能を身に付けるようにする。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	COMET English CommunicationⅡ（数研出版）
副　教　材	ESSENTIAL WORDS①（中部日本教育文化会）